

# 創

—第48回—

## 新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルスの感染者が大分県で初めて確認されました。これからも感染拡大すると考えて行動するべきでしょう。

小中学校も国・県からの要請を受け、市においても臨時休校の措置を取りました。中学の卒業式は卒業生と教職員のみで時間短縮で挙行し、小学校もその予定です。保護者からは運動場で開催したり参加者を一人ずつにしたりして保護者も卒業式に参加できるようにして欲しいなどのご意見をいただいています。

本当によくお気持ちはわかります。しかし今重視すべきは国を挙げて濃厚接触を避け、クラスターを発生させない



別府市長  
長野 恭紘

い事です。そして早く終息宣言を出させる事です。

インフルエンザと同様の対処しかない、とよく聞きますが、平成30年にはインフルエンザで3千人以上が亡くなっています。治療薬があるにもかかわらずです。新型コロナウイルス感染症には現在有効と認められる治療薬がありません。軽く考えてはいけません。少なくとも私は楽観的に考えて対策を講じる訳にはいけません。

一人ひとりが感染予防に努め、体力を落とさぬよう徹底を図ってください。

市内経済も心配です。今は事業や雇用を守る為、融資などを徹底的に活用してください。そして終息と同時に発動できる対策を今から準備します。我慢を強いられる日々が続きますが、この難局を皆さん力を合わせて乗り越えましょう。(3月9日執筆)

## フォトべっぴ



**選**手の想いをつないだタスキー2月17日から5日間、県内一周大分合同駅伝競走が行われ、別府市チームは総合10位でした。選手たちの真剣な姿は、私たちに頑張る勇気を与えてくれました。



**歌**に込めるがんばる気持ちー障がい者スポーツの振興のため、音楽を通して鶴見小の子どもたちと交流した人気バンド「アルケミスト」。ボーカルのこんやは水泳でパラリンピック大会出場を目指すアスリートです。



**災**害に備えるー2月20日、市と大分県レッカー事業協会は「災害時における車両等の移動等の協力に関する協定」を締結しました。市は災害時、車両などの移動を協対会に対して要請できるようになりました。



**芽**吹き春のためにー3月7日東山の猪の瀬戸湿原で野焼きが行われました。この時期に野焼きをすることで、四季が楽しめる湿原を維持することができます。湿原の自然観察会は27ページをご覧ください。